

【 「ビンゴ・ゲーム → マッキーノ」は「イノベーション」である 】

【 マッキーノは時代を 30 年～40 年も先取りした「データ・サイエンス」のみ  
ごとな成果である 】

【 板倉聖宣先生と牧野英一（ひでかず）さんは、時代を先取りしたデータサイ  
エンティストであり、かつ、イノベーターである 】

◆マッキーノは 1986 年ごろから研究が開始され、1992 年に完成しました(1992  
年夏の合宿研究大会・信州・蓼科大会の頃)。

◆マッキーノの開発と普及のベースには「データ・サイエンス」の手法が駆使  
されています。

◆「データ・サイエンス」とは「確率・統計」と「仮説実験」の組み合わせで  
「新しい価値」を見出す方法です。

◆写真は史上初「創始者によるオンライン・マッキーノ」のようすです。

◆牧野さんの至高の集団暗記システム「マッキーノ」の試行と思考はいまも施  
行されつづけています。

◆マッキーノの「そろった列数」試行の分布は、大学教科書レベル、統計熱力  
学分野の気体分子運動「ボルツマン分布」そのものです。

◆自然科学と社会の科学とを接続する壮大な授業書《温度と分子運動》＝《蒸  
発と分子運動》＋《分子運動と寒剤のなぞ》は、このことを感動的に学べる、  
素晴らしい仮説実験授業です。

◆ぜひ、体験してみてください。自然と社会に対する見方がパ〜ッと開ける、そういう印象が味わえるはずです。

◆いっけん、「なに？これ？」と思われがちな「暗記ゲーム」研究のベースには、こういう地味で、このうえなく緻密な研究の継続が隠されているのです。

◆ウィキペディア「マッキーノ」の項を執筆された山本海行（みゆき）さん（静岡）が、こうした牧野英一さんの活動を《「真理は10年にして勝つ」（板倉・『発想法かるた』）を地でゆく素晴らしい研究姿勢と成果》と記しています。

同感です。

#牧野英一 #まきのひでかず #マッキーノ #イノベーション #データサイエンス #mackino #datascience #innovation #education #仮説実験授業 #板倉聖宣 #たのしくドリルマッキーノ #仮説社 #温度と分子運動 #蒸発と分子運動 #分子運動と寒剤のなぞ









